



亀中だより

No.39 本年度最終号

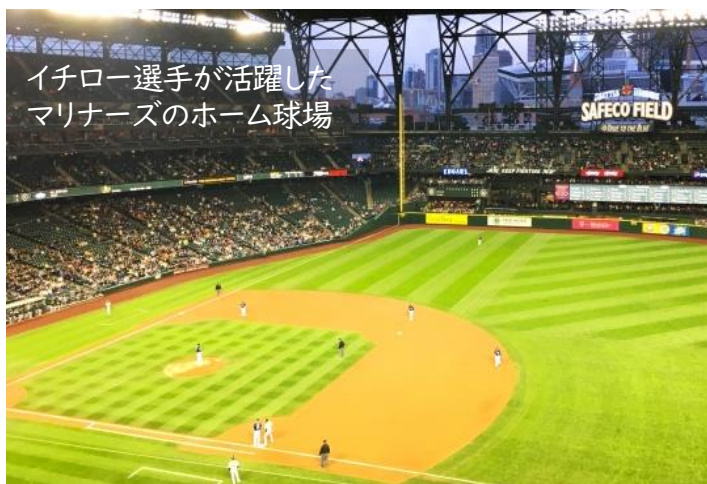
令和7年3月21日 文責 岡田

For The Students!

不完全であるというのはいいな…。 生きていく上で不完全だから進もうとできるわけです。

今年日本とアメリカの両方で「野球殿堂」入りを果たしたイチローさん。メジャーリーグでの殿堂入りはほぼ確実だろうといわれる中で、注目は 394 人の記者による投票が満票になるかどうかでした。結果は 393 票。たった一人、投票しなかった記者がいたのです。周囲の誰もがそれを残念がったのですが、当のイチローさんは違いました。以下、イチローさんのコメントです。

「一票足りないというのは、凄く良かったと思います。しかもジターと一緒に。足りないものを補いようがないですけど、努力とかそういうことじゃないからね。いろんなことが足りない。人って。それを自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思うんです。これとそれはまた別の話なんですけど、不完全であるというのはいいになって。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけです。そういうことを改めて考えさせられるというか、見つめ合える。そこに向き合えるのは良かったなと思います」



イチロー選手が活躍した
マリナーズのホーム球場

注:ジター(ザ・キャプテン、ミスター・ヤンキースと呼ばれた
ニューヨークヤンキースのスーパースター)

さすが、イチローさんといった感じですよね。現役を引退してまもなく6年…、今なおイチロー節がさく裂しています。引退後も国内の高校に指導に行くなど野球界の発展に尽力されているイチローさんならではの考え方ですね。そもそも「完全」とか「絶対」とかってことはなかなかあり得ないことなのでしょうね。常に自分の足りない部分や課題を追い求めながら、前に進もうとする姿は、とても素晴らしいし、私たちにとってもとても参考になります。

イチローさんは投票しなかった記者を自宅に招いてディナーをごちそうしたい。そして語り合いたいと話していました。おそらくこれは皮肉ではなく、本心なのでしょう。第三者から見た自らの足りない部分を素直な心で聞き取り、受け入れて前に進もうとするイチローさん。今年度を終え、一つずつ学年を上げ、また新たな挑戦をしていくこの時期に、みなさんも、我々教職員も、見習って令和7年度を迎えましょう。

令和6年度が終わろうとしています。みなさんにとってどんな一年だったでしょうか。どこの教室にもあなたたち一人ひとりのこの一年間の目標が掲示されていました。一年前、あなたが目指した姿に今の自分になっているのでしょうか…。掲げた目標は、どれだけ達成されたか、足りなかったところがあるとすれば、それは何なのか。ふり返ってみましょう。達成できなかったからすべてがダメだったというわけではありません。そこから見える次の自分を、はっきりとさせ、令和7年度のスタートに生かしてください。一年間ご苦労様でした。

そして保護者、地域のみならず、一年間亀山中学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございました。一人一台端末の活用など、コロナ禍に学校が経験したり、身につけたりしたことが当たり前になり、子どもたちの学びの姿も様変わりしています。ニューノーマルの学校に通う子どもたちにとって、さらに豊かな中学校生活が送れるよう、令和7年度も取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。